

## 今後の取組について

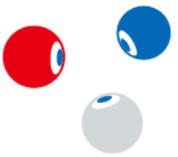
2025年3月10日 第12回持続可能な調達ワーキンググループ

公益社団法人  
2025年日本国際博覧会協会  
持続可能性局



# 1. 今後の調達コードに関する運用について

- これまで、調達コードの周知や遵守状況を確認するために、チェックシートの確認やリスクが高いと想定される参加形態の事業者に対し個別に周知・ヒアリング(実地含む)を実施。開幕まで継続予定。
- 開幕後は、チェックシートの確認に加え、万博会場等で以下活動を予定。
  - ・持続可能性(人権、調達コード、資源循環、脱炭素)の観点での「SUSパトロール(仮称)」
  - ・特に留意している労働・人権、個別基準(木材、紙、農・畜・水産物、パーム油)の遵守状況を確認するための巡回・確認
  - ・調達コードに関する表彰対象の調査・確認
  - ・通報受付窓口の調査、監査等
- 通報受付対応については、閉幕後も2025年12月末まで受け付けることとしており、通報対応アドバイザリー会議や助言委員会でのご意見を踏まえて適切に対応を行っていく。



## 2.調達コードに関する表彰について（案）

現在、持続可能性の各カテゴリーにおいて表彰を検討しており、調達コードについては以下のような案を検討中。詳細については、調達WG委員のみなさまに相談させていただく予定。

### ● 表彰項目

#### ①総合部門

- ・調達コード(人権・労働等)への適合度が高く先進性や社会的影響力の観点から特に優れた取組を行った参加者を表彰

#### ②食品部門

- ・調達コード上の推奨品目(農畜水産物)の調達を積極的に行う参加者を表彰

### ● スケジュール

- ・2025年4月頃 表彰制度の公表
- ・2025年8月頃 審査
- ・2025年9月頃 表彰及びHP等にて公表

### 3. 持続可能性行動計画（最終報告書）の検討・作成

基本的には、東京2020大会の内容を参考にしつつ、事業者の良い取組事例集も記載予定。詳細については、来年後半(閉幕後)に開催予定の調達WGでご議論いただく予定。

#### ● 持続可能性行動計画（最終報告書） 調達コードに関する記載項目（案）

1. 概要
2. 調達コードの策定・普及と運用
  - (1) 調達コードの策定・普及、
  - (2) 調達コードの実施・運用
3. 持続可能性に配慮した木材、紙、農・畜・水産物及びパーム油の調達
4. 通報受付窓口
  - (1) 通報の受付・処理の状況、
  - (2) 通報受付窓口の取組、
  - (3) 苦情処理メカニズムの普及に向けて
5. 表彰、優良事例集
6. 今後に向けて（調達WG委員長コメント等）

#### [データ]

- ・ 日本国内における持続可能性に関する認証の普及状況
- ・ 木材の調達（リング）、紙の調達（ポスター、チラシ、パンフレット）、農・畜・水産物の調達（協会関連発注における生鮮品）、パーム油製品の調達（揚げ油、石鹼洗剤）
- ・ 通報受付窓口で受け付けた通報案件の概要

## 4. 今後の調達WGスケジュール（案）

2025年7月頃 第13回調達WG

【会場とWEBによるハイブリッド開催（予定）】

- ・調達コード遵守状況（確認・モニタリング状況報告）
- ・通報受付対応（通報受付対応状況報告）
- ・会場視察

11月頃 第14回調達WG

- ・調達コード遵守状況（確認・モニタリング状況報告）
- ・通報受付対応（通報受付対応状況報告）
- ・持続可能性行動計画（最終報告書）（案）提示

2026年2月頃 第15回調達WG

- ・調達コード全体総括

